

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 390

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 3. 農業振 現年		
事業名	担い手育成事業				
細事業名	担い手協議会事業				
				評価表作成者	農林商工部 農政課 松本 清臣

## 1. 事業の概要

各種団体・農業者等も参画した南丹市担い手育成協議会を設立し、担い手支援・集落営農法人化支援等を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

管内の農業者、集落営農組織の育成・支援を目的に、市、府、農業委員会、共済組合、JA、生産者、農業士によって構成。南丹ブランド生産者の創出、育成を多角的に実施していくことにより、南丹ブランドの生産拡大と生産者の経営改善、向上を図る。

### ② 事業を実施する必要性

関係機関が個別に実施していくのではなく、協議会を通じて一体的に実施することにより、農業者に対する支援を効率的、多角的に実施することが可能になるため、農業者への寄与は大きい。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	400	350	310	155			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	400	350	310	155			
職員等の従事人員		人/年	—	0.45	0.20	0.35			
人件費		千円	—	2,609	1,336	2,211			
事業費総額		千円	—	2,959	1,646	2,366			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 155,000円

## 5. 事業結果の概要

担い手の育成に寄与した。

## 6. 活動の詳細

(1) 協議会活動		
●平成22年度総会（会場：南丹市園部公民館 大研修室）平成21年度の活動報告及び決算報告並びに平成22年度活動計画(案)及び予算(案)について審議を受け、承認いただく。	7月23日午後2時～	出席者 10名（委任状2名）
(2) 補助金交付		
●南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 協議会活動の円滑な実施を支援するため、協議会に対し補助金を交付。	4月1日～3月31日	南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 155,000円

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成21年度耕作放棄地対策協議会を南丹市担い手育成総合支援協議会の中に設置した。今後も京都府担い手支援協議会及び南丹市農業委員会との連携を図っていく。平成23年度において地域水田協議会との統合を図る。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

平成21年度耕作放棄地対策協議会を南丹市担い手育成総合支援協議会の中に設置した。今後も京都府担い手支援協議会との連携を図っていく。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
新規就農者支援の充実。
- ②当該事業のアピール事項  
関係機関の意見を踏まえて就農支援が可能になる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
引き続き実施すべき協議会である。